

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1474200183	事業の開始年月日	平成12年10月1日	
		指定年月日	平成12年10月1日	
法人名	NPO法人介護グリーンハウス えがお			
事業所名	グループホームグリーンハウス			
所在地	(234-0433) 神奈川県海老名市河原口2379-3			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成23年2月8日	評価結果 市町村受理日	平成23年6月3日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1474200183&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、小田急線及びJR相模線の厚木駅から徒歩で5分ほどの相模川河川敷を望む散歩道沿いにあり、広い庭のある家でいろいろな季節の楽しみが感じられます。又、食事は支度から利用者に参加して貰い、料理する楽しさと食事の楽しさを感じていただいています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケﾞ双ファースト 3階		
訪問調査日	平成23年4月18日	評価機関 評価決定日	平成23年5月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

小田急線・JR相模線厚木駅から徒歩5分ほどに位置し、近くに幹線道路が通っていますが、自動車の騒音は気になりません。既存の2世帯用木造住宅を改築して使用しているため、木のぬくもりが感じられ、自宅で暮らしているような安心感があります。広い庭には樹木が植えられ、2階の居間・食堂に面してバルコニーを配置し、利用者の外気浴、くつろぎの場となっています。勤続年数の長い職員が多く、利用者の生活機能を活かしながら共に暮らす家庭を目指しています。

事業所の優れている点
 利用者の嗜好に配慮した調理の工夫
 業者からは昼・夕食の材料がレシピと共に毎日配達されますが、食材により調味料を変えて味付けに変化をつけ、切り方、調理方法を工夫し、利用者の嗜好に合わせて提供しています。

事業所の工夫している点
 家族と共に利用者を支える姿勢
 利用者と家族の絆を大切に、家族が訪問しやすい雰囲気作りを心がけています。家族会開催は年1回ですが、毎月、利用料請求書とともにその月の本人の心身の状況と支援状況を細かく報告し、要望や意見を出しやすくしています。家族が来訪しやすいように、利用料を現金払いにし、多彩な行事を企画し、家族の参加を歓迎し共に支える関係作りに努めています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームグリーンハウス
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関、事務所等の職員の目に付きやすい場所に「運営理念」を表示し、共有してその実践に努めています。	平成12年事業所開設時にホーム長が作成し、地域に根ざした事業所が目指すサービスのあり方を簡潔に示しています。職員は年度初めの全体会議で再確認する他、行動指針・倫理要綱と共に事務室に掲示し常に意識づけし実践に繋げています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	河原口連合自治会に加入し、回覧板で地域行事等に参加出来ないか確認しています。昨年の秋には、自治会主催の展覧会に利用者の手作りの作品（絵画、壁飾り等）を出品しました。	利用者が、自治会主催の音楽祭に参加したり、職員が防災訓練に参加しています。日頃から近所づき合いのような交流を心掛け、利用者が近くの畑の草取りに参加する事もあります。ボランティア・実習生の受け入れも積極的に行っています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	普段の散歩等で地域住民との交流をはかり、理解をすすめています。近くの神社に参拝するときは、利用者が自由に使用できるおこずかいの中から、賽銭をあげています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	以前は運営推進会議を実施し、意見を反映していましたので、すみやかに復活するために検討中であります。	運営面を一手に行い、運営推進会議の準備を計画中だった事務長の急な逝去により、昨年度は開催が出来ませんでした。現在、地域包括センターの職員と開催時期等を検討中です。	運営推進会議は地域の理解と支援を得るための貴重な機会です。家族を含めた会議メンバーから率直な意見をもらい、サービスの向上に活かしていけるよう再開に期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	安心センターから定期的に訪問して頂いています。又、疑問点等があった場合は、海老名市に連絡したり相談に対応して頂いています。又、22年9月第25回市民音楽祭（市主催）に入居者全員で参加しました。	海老名市の高齢介護課職員とは、運営面（拘束・徘徊対応、消防関係）等で相談しています。生活保護受給者が3名入居している関係で、福祉課職員とも意見交換をしています。市の安心センター職員が定期的に事業所を訪問しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が参加する、月1回のミーティングで身体拘束について話し合いを持っています。又、玄関の施錠については、外部からの侵入を防ぐ為におこなっておりますが、各居室は施錠していません。	月1回実施する全員ミーティングで職員は拘束の内容や弊害を理解し、拘束と安全性について話し合っています。玄関のカギは外部からは入れませんが、内部からは自由に出入れる鍵に変え、安全を確保しつつ自由な暮らしを支援しています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている	特に入浴時に身体の傷やあざがないかに注意し、必要に応じてミーティングで報告したり、日誌に書いて職員全員でわかるようにしています。	/	/	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティングで話し合う機会を設けたり、自己研修を受けた職員が発表したりしています。	/	/	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書の説明を十分に行い、疑問点等はその時点で受けるようにしています。又、重要事項は説明するとともに書類を渡しております。	/	/	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1度家族会を開いております。又、敬老会・クリスマス会などの行事に家族にも参加していただき、普段から意見をしやすい環境作りをしています。	年1回開催する家族会以外に、家族は利用料の支払いのため遠方の家族以外は毎月訪問しています。来訪時には、利用者の心身の状況を報告し、要望などを聞いています。入浴に関する要望やターミナルケアについての問い合わせが来ています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングで、毎回、意見交換し、運営に反映するようにしています。管理者が常に現場におりますので、意見交換がしやすい環境になっています。	月1回の全体ミーティングで、支援方法に対しての意見や、職員の増員についての意見が出され、話し合いの結果、支援方法では利用者に、より安全・安心・快適な生活を提供できるようになっています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	普段から職員の意見等に注意し、運営に反映させるなどして向上心を持てるようにつとめています。又、個々の意見を吸い上げて、働きやすい環境作りに努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県主催の研修に交代で参加し、研修後はミーティングで報告するようにして2次研修を行っています。新入職員には、実務を指導しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣地域のグループホーム協議会に所属し、相互研修など、交流をはかっています。月に1度、同系列のホームで利用者も含めて、交流会を実施しています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションをとりながら、本人の要望等を聞き出し、不安をいだかせないように、ゆっくりと傾聴するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	必要に応じて聞き取りを行い、サービス計画に反映するようにしています。本人のちょっとした変化でも家族に連絡して、安心して頂けるようにしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始時に家族に状況や要望等をアンケート形式で回答してもらい、それをもとに適切なサービスのあり方について家族も含めて検討しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活の場として各人が掃除、洗濯干し、料理の手伝い等役割を持ち、相互関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との外出などを盛んにして頂く等、普段から家族との連携を蜜にするようにしております。ホームの行事にも積極的に参加して頂くようお願いしております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友人や家族の話題を取り入れ、面会や外出などを自由にしていただき、交流が途切れないようにしています。	友人の訪問を歓迎していると同時に、外部の人との交際については、利用者の負担にならないように配慮しています。毎年、家族宛てに年賀状を送り、喜ばれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	午前中は歌やゲーム・体操等をして声を出したり、身体を動かすようにしています。又、午後は個々の自由な時間を尊重しながらも、孤立することがないように努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族から相談等があった場合は、いつでも応じて、支援するようにしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話等により、本人の意向や希望を聞き出して出来る限り、沿うようにしています。困難と思われる場合はミーティング等で検討しています。	入居時の情報を基に、日頃のさりげない会話や態度・表情などから本人の希望、意向等を把握するように心掛けています。状況により、「心身の情報—私の姿と気持ちシート」を活用し把握に務め、結果を職員間で申し送り共有しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの暮らし方、趣味などを、丁寧に聞き出し、新しい生活にスムーズに入っていただけるようにしています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子、変化などについて、時間帯別に日誌に記録し、職員全員が把握出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意見を聞き、介護計画を立てて、ミーティング等で職員の意見等も取り入れ、再検討しながら介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプランは本人・家族の意向を大切に、課題と目標を抽出しカンファレンスで目標達成にむけた支援内容を検討しています。設定期間終了時には支援内容の評価見直しを行い、次の計画につなげ、本人の状況や家族の要望に変化があれば見直しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護計画を添付した個別記録に記録し、職員間で共有しています。その記録を反映して新しい介護計画を作成しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>訪問マッサージの導入など、ニーズにあった柔軟な支援を心がけて、実践しています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>年に1回、定期的に市の主催するボランティア「男の料理教室」の方達に来て頂き、利用者さんと一緒にそば打ちをおこない、一緒に食べて大変喜んでいただいています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携医療機関の定期検診を受けており、その他に専門医療機関の受診の希望がある場合は家族に協力して頂いたり、個々に合った方法で受診して頂いております。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医（整形外科・眼科）には、家族付き添いで受診しています。月2回来訪している協力医への切り替えには、家族の同意を得ています。歯科医の訪問が月2回あり義歯の治療なども行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回の内科、歯科の訪問医の検診を受けており、気になる点等がある場合は、看護師に電話して主治医に指導をおおぐ等して気軽に相談にのって頂いております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護記録を病院側に提出しています。退院時は医療診察情報を提供してもらい、スムーズな連携がとれるようにしています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族には事前に理解して頂くようにして、相談にも出来る限りのようにしています。100歳に近い方も増えてきているので、終末期の受け入れについて検討する時期にきていると思っています。	入居時に医療処置が必要になった場合、移り住みとなる旨、了解を得ています。重度化や終末期の対応については、今後の課題として、基本方針、ガイドラインを提示する方向です。	重度化した場合や終末期の対応について、事業所としての方向性を定め、早急にガイドラインを作成し、家族に提示されることが期待されます。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署に要請して救急訓練を実施したり、事故、急病が発生した場合のマニュアルを作成し、職員間で訓練を行っています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年数回、ホーム内の避難訓練や通報訓練を実施しています。	避難、消火、通報訓練を年2回行い消防署の助言を受けています。民生委員の一人が地域住民として参加し利用者の見守りをお願いしています。年6回、職員が自主防災班を組織し避難通路の確保や火災発生時の基本行動等を話し合っています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人・一人の発する言葉を大切に受け止め、共感し誇りを傷つけないように心がけています。	利用者の尊厳を守る大切さを職員は十分理解しています。尊厳を守りつつ、家庭的な雰囲気をごわさないように留意しています。プライバシーに関わる話には、ケアマネージャールームを使用し、個人記録は鍵のかかるロッカーに保管しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から会話の回数を多くして、コミュニケーションをはかり、本人の希望などを、キャッチするようにしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゲームや散歩などの参加は自由であり、本人の希望を取り入れ、自分のペースで過ごして頂けるようにしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時の服選びやお化粧などを楽しまれる方もいて、職員もそれを支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度は簡単な刻みや盛りつけと一緒に、食後は自分の食器の洗いをして頂いています。	毎日届く昼・夕食材は利用者の好みを熟知した職員の一工夫があります。調理から配膳・下膳までの過程で、利用者はそれぞれに参加しています。ボランティアの協力で実施しているソバ打ちから茹で上がるソバの味を楽しむ食事会は利用者の楽しみです。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分共に摂取量を記録して状況を把握出来るようにしています。栄養バランスについては、栄養士の作成した献立のもと、新鮮な食材を使用しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後、声かけして歯磨きをしています。入れ歯は寝る前にはずして入れ歯洗浄剤を使用して洗浄しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>各自の排泄パターンを記録にとり時間を見ながらトイレ誘導して、トイレでの排泄を促すようにしています。</p>	<p>24時間の排泄チェック表から利用者のパターンを理解・共有し、日々の話し合いで情報を細かく積み上げて、支援をしています。トイレでの排泄を大切にしながら、失禁が改善された事例や、夜間トイレの自立ができた事例もあります。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>体操や散歩等を行い、便秘になりにくいように工夫しています。また、朝食にバナナや牛乳などを取り入れています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は本人の希望を取り入れて、計画に沿って行っています。体調不良で入浴が困難な場合は、足浴や清拭をして、清潔を保つようにしています。</p>	<p>入浴日は自由ですが週間の利用回数が2回となっています。3名は介助で6名が見守りです。入浴後、利用者から「ありがとう！お先にいただきました」と大きな声がドア越に聞こえていました。見守りながらの声かけも大切な支援となっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温の調節など、一人一人の要望に沿って対応しながら、安心して入眠出来るように支援しています。シーツはつねに清潔にして、布団干しも行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個人別にファイルして、最新の情報が一覧できるようにしています。変更が生じた場合にはスタッフ間で記録によって伝達しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ゲーム進行や日々の予定表の読み上げなどの役割分担を決め、日常生活の支援に取り組んでいます。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に散歩に出かけたり、月に1回みんなで行くことも楽しみにしています。又、近くのギャラリーに美術鑑賞に行く事もあります。	日常外出は施設の周りを散歩し、計画外出は外食会、クリスマス合同演技会などがあります。外食会は毎月実施されメニューや写真で食前の話題が盛り上がります。演技会には家族や地域住民に同一法人の別施設利用者と職員も加わります。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	各人が自由に使えるお金と小遣い帳をおき、外出して買い物をする際は本人に財布を持ってもらい、支払いをして頂くよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、本人から要請があれば、自由にかけてもらっています。手書きの年賀状を職員が支援しながら、全員が家族に出したところ、本人及びご家族様から大変喜んでいただきました。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節が感じられる様な作品作りに協力し、居間や廊下に展示しています。行事や家族と一緒に写真なども展示しています。	施設の外庭で育てた草花を季節によりリビングに飾っています。散歩時に皆で集めた「猫じゃらし」の穂で、1mほどの貼り絵の犬を3ヶ月かけて、全員で作っています。時間とともに草色から今では薄茶色に変わったアフガン犬の壁飾りが出来ています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりの良いリビングにソファを置き、団欒の場所にしたり、広いベランダに椅子とテーブルを置いてゆっくりとくつろげるようにしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談してなじみの家具や家族写真などを各居室に置いています。又、仏壇などの本人のこだわりのある物も置いています。	民家を利用したホームは居室もさまざまです。和室は4室、洋間は5室あり、家族手作りの収納家具を持ち込んだり、水彩を描く利用者はいつでも描けるよう、絵具と筆を椅子に広げています。和室では布団敷きの利用者もいます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居間が二階にあるため階段昇降が不自由な方のために階段昇降機をつけて安全に昇降できるようにしています。又、トイレ等に移動しやすいように手すりも、つけています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	事業所と地域住民や地元の関係者とのつながりが少なく、理解者や協力者がすくない。	自治会の役員、民生委員、利用者の家族も含めて、運営推進会議を開き、素直な意見を聞き、事業所と地域住民や関係者とのつながりを深め、理解者や応援者を増やしていく。	運営推進会議の再開に向けて、関係者や経験者等に助言を受けながら進めていきたい。	6ヶ月
2				地域の民生委員さんより、事業所の庭の草取りなどの手伝いをしてくださるとの申し出がある。早急に実現出来るようにする。	2ヶ月
3			広報誌の作成	ホームの広報誌を作り、自治会や家族に配布し防災訓練や散歩、対談、楽器演奏等のボランティアさんが気軽に来て下さるように呼びかけ、あたたかく受け入れる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。